

令和6年2月27日（火）
岡谷市男女共同参画審議会

第2回岡谷市男女共同参画審議会

会 議 録

【出席者】

○委員（11名）

鮎沢 美知委員、赤間 公子委員、小口 常夫委員、小口 まゆみ委員、北村 隆雄委員、
小林 真紀委員、薩摩林 建委員、瀧澤 幸子委員、藤森 賢二委員、宮本 拓美委員、
矢崎 京子委員

（※欠席者…有賀 メアリー委員、熊井 卷文委員、高野 勝寛委員）

○アドバイザー

長野県男女共同参画センター 長崎 淳 所長

（事務局）

企画政策部長	岡本 典幸
地域創生推進課長	小平 寛
地域創生推進課統括主幹	廣瀬 智子

第2回岡谷市男女共同参画審議会 会議録

令和6年2月27日(火)
午後1時30分～午後3時
市役所6階 605会議室

●市民憲章唱和

1 開会

2 会長あいさつ

皆さん、こんにちは。本日は、大変お忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。
何回もない会議ですが、大切な内容なのでよろしくお願いいたします。

今回は、男女共同参画計画プラン7策定に向けて、昨年回収したアンケート結果をもとに市民意識がどう変わってきているのか変わらないでいるのか、その辺りを検証しながら、皆さんの意見を伺うなかで、何が問題なのか、これから策定する計画に何を盛り込んでいったらいいのか、ということを考えていきたいと思っております。

過日、「おかや市民のつどい」でアンコンシャスバイアスについての講演会を行いました。お越しになった方もいらっしゃると思いますが、男女共同参画がだいぶ進んできているとは思いますが、それでもまだ無意識の思い込みが心の中にあり、何気ないところで言葉にでてしまったりするようなことがあるかと思えます。

今日は、皆さんの大事な意見をお伺いする中で、プラン7に向けて必要なことも考えていきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

3 会議事項

(1)「男女共同参画に関する市民アンケート」の結果について

会長	それでは会議事項に入ります。 次第に従いまして、(1)「男女共同参画に関する市民アンケート」の結果について、市から説明をお願いします。
統括主幹	《男女共同参画に関する市民アンケート調査結果の説明》⇒内容省略
会長	ただ今、説明がありました事項について、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。
A委員	67 ページ、「男女共同参画おかやプランVI」これを聞いたことがあるが内容は知らない、または知らない、という方が約9割。知っている方が約5%。これしかいないことについて、今後行政として、どのような方向で市民に周知をしていくのか、お考えがあるのかお聞きしたい。
統括主幹	今年度も含めここ何年かですが、男女共同参画週間とか、そういったときにプランVIの概要版を拡大して、皆さんに見ていただけるような形

	<p>で周知をさせていただいたり、出張フォーラムなど様々な機会、講座等に出向いたときに、プランⅥの説明等をさせていただいたりということはしていたところでありましたが、なかなかこの数字が伸びなかったなというのが今回の結果です。何かもう少し知っていただけるような、方法を考えなければいけないなというところですけども、プランⅦに向けて、また新しい計画ができたところで、広報等にも協力していただきながら、もっと広く市民に伝えられるような形にしていきたいなとは思っております。</p>
会長	<p>確かに、計画はいろんなところで発表しているんですけど、なかなか詳しいところまでは知らない人も多いですね。</p> <p>学校とかでは、だいたい教育が進んでいて、子どもたちの認知も高いと思ったんですけど、20代、30代であまりいい結果でないところもあり、少しびっくりしました。</p>
B委員	<p>進んでいないという会長のお話でしたけど、全体的にみれば、コンマ何%とか1%とかっていう、ごくわずかでありながら、前回よりも若干改善の方向にはあるんじゃないかと思っています。</p> <p>それで、このグラフで出ているところがそれぞれの回答の数字をグラフ化したということですから、それはそれで結構ですが、アンケートの75ページ以降に「男女共同参画に対するご意見、ご要望がございましたらご自由にお書きください」という部分をまとめてあると思うんですけども、非常に手間がかかるかもしれないですけど、この意見を各テーマに沿って、ここに対してこんな意見があるよっていうようにまとめていただくと、出していただいた方の意見がここに項目に対して書かれているというのがわかれば、いろいろな判断材料としてわかりやすいんじゃないかと。意見等をずっと読んでいても、途中でこんがらがってきちゃうので、それぞれのテーマのところに対してこの意見が書かれているんじゃないかというような分類の仕方をしていただければ、これからも、もう少しその対処の仕方を考えていけるんじゃないかと思いました。</p>
会長	<p>そうですね、そうすれば対策になって、新しいプランに反映しやすいということですよ。</p>
統括主幹	<p>ありがとうございます。</p> <p>確かに切り分けをしてみると、もう少しわかりやすい傾向が見えてくるような気がしますので、やってみたいと思います。</p>
B委員	<p>読んでみると全部ひっくるめて、その要望っていうふうになっているので、はっきりわかるものもあるんですけども、なかなか、どれに対してこういう意見があるのかっていうのが、ちょっとわかりにくい。もしでしたら、テーマごと、回答していただいた最後にご意見、ご要望としていけば、もうちょっと分類の仕方があるのかと。</p> <p>できたら次の機会に、そのようにしていただければいいかなと思っています。</p>
C委員	<p>これだけの資料をまとめていただくのが大変だったと思います。お疲れ様でした。</p> <p>読んでいて、一番気になったのは、私も75ページからの要望、意見と</p>

いうところですが、これすごいなと思って。これを書いてくださった人たちはやっぱりそれなりのことを、真剣に考えてくださったのかなってというような感じがしました。本当に考えている人は考えているし、いろんな意見があることがすごくわかりました。私自身もいろいろ漠然と考えを持っていました。こういうのを見ると、ますます本当に難しいことなんだなあというのは今回感じました。

78ページに「市の取り組みに具体性がない」と書かれてますけど、本当にこれって、具体的に何かしようっていうのはなかなか難しい問題だと思っていて、最近の世の中では若い人たちは、割と本当にどんどん気持ちも開かれていて、男性でも大きな企業ではほとんどの方がみんな育休をとっている。実家に帰ってきて今日はなに？って聞いたら、育休中だよって感じでもう本当に、当然のように育休を取得しているような状態になっています。若い人たちはどんどん進んでいる。

今日の新聞にもでていましたが、従業員100人以上の会社で、25年度までに男性の育休50%を取得させるように、報告しなさいっていうのがでていて、こういう感じでどんどん進んでいかなければいけないのになって感じました。

私たちも何もしないと本当にこういう問題については、漠然ととらえてしまうので、いろんな機会に、啓発活動は大事なのかなと思います。最近のテレビCMでも、いろいろやっていますが、いろんな場面でいろんなことで啓発していく。子供たちは学校で習ってくるので、どんどん吸収して子供たちの方が開けた考えを持っているんですが、やはり私たちくらいの年代は、アンケートでもわかるように、年配の方はなかなかその考えを変えていくことは難しいのかなと思います。いろんな場面で啓発活動をしていく、地道な活動ですがその中、今の時点ではそれが大切だというふうに考えています。まともなくてすみません。よろしくお願いたします。

会長

男性の育休も、若い人たちは都会の方で増えているみたいですね。

こちらの方はまだまだらしくて、何がネックなのかなって聞いてみましたら、やはり、育休とると給料が何%か減らされてしまうんで、それではちょっと生活できないから取れないなっていう人もいるっていう話を聞いたりしています。そういうところがネックなのかなと。結局、女性も休まなくちゃいけない、男性も休まなくちゃいけない。男性も育休をとると、2人で相当の減額になってしまうという話をして、そこら辺を、なんとか国の方で考えていくしかない。少子高齢化でますます子供が減っていく中で、どうやったら、社会を保っていられるかということを考えていかなければいけないですね。

家事とかは、だいぶ男性もやっていますね。手のあいている人が仕事をすればいいんじゃないか、という考えのもとに、どちらかがその時間にあいている方が、家事をするっというふうになればいいですけど、なかなかそこまで行けない家庭も多い気がします。また、新しい課題については、取りかかりやすいようにも見えますね。だけど、今は、男の子が私は女の子だって言っている場合に、どう対応していいかわかんないとか、そういうことも結構あると思うんですけど。そこら辺の意識っていうのも変えていかないといけないのかなというふうなことも常日頃思っています。

副会長

10代の後半や20代の若い方たちと接することが多いわけですが、このまとめていただいた意見の中の20代の意見を見ておきますと、環境

整備や強制力とか、そういったことが整備されていることがすごく大事というようなことが、共通して書いているように思います。

自分たちで声を上げることには抵抗があっても、法的なとか、属している社会の強制力があれば、それに乗っていけそうな感じがこの意見から伺えたりします。

長野県の生まれではないのですが、長野県にきて、御柱ってというのが、こんなにその地域の人たちの中心に、精神の中心になるというようなくらい大きなものなんだなというのを、実はすごく感じていて、御柱のことを書いている意見があって、男性がメインだとこの中心になっているその支柱となってるようなお祭りというか、精神を何かこう表すような御柱が男性中心に回っていく、ということでこれと地域との関わりが若い人たちが少なくなっているっていうようなことや、社会通念しきたりとか、そういったことがなかなか変わらないって言ったようなアンケート結果を感じます。見ますと、どうしても変えられないことは、もしかしたら、地域によってあって、でもそれを決して不快なこととしてとらえてなくて、だけでも、実際の生活をうまくまわしていく上では、すごく協力していける可能性といいますか、若い人たちは、実は、身につけてるというか、身にしみているというか、教育をずっと受けてきて、あんまり抵抗なく、意識にしみついているようなところもあって、アンケートの結果で、意識が向上しているがゆえに、パーセンテージが減ってる。わかっているが故にパーセンテージが減ってきた、或いは増えてきたっていうような項目があるように思いました。ですから一概に過去と比べられない意識というのは、あるのかなと思いました。

大量なこのアンケートをまとめていただいて本当に読ませていただいて、すごくよくわかりました。ありがとうございました。

D 委員

私は毎回御柱に最初から最後まで関わっていますが、あのお祭りは特別です。あれが地域の団結を強めていると思うし、各企業のお祭りっていうのが、だんだん後継者がいなくて衰退していく地域がある中で、この地域の御柱っていうのはちょっと特別で、今後も続いていくだろうと信じているし、女性も木やりとか、ああいうところとかに参加している。昔は多分、女性は曳けなかったのかもしれない。でも曳くのも今は女性が多いです。だからお祭りって、特に御柱は男の人が主っていうのはやはり力仕事や危ない部分もあるので、そういうことは女性がちょっと、手を出して怪我でもしたら、もうかなり危険なお祭りなので、それは仕方がない部分もあると思うけど、でも本当にあれはもう地域挙げて大事な大イベントで、7年に1度で、この地域を1つにする大事なお祭りだし、それも、男も女も関係なくやっぱ関わっていると思うので、ああいうことは大事だと思います。

私は思うんですけど、男性女性って体づくりっていうか、何でも同じにはできないことがあって、その辺は尊重して、けどちゃんと支えているのが女性だったりするわけです。そういう中で見えないところで支えている女性たちがいるっていうことは大事なことなので、みんなで力を合わせて、お祭りに限らず、毎日の生活を、何とかやっていくしかないかなって思うし、昔に比べると本当に、家庭の中では男女共同参画はかなり進んでいます。女性の方が強いぐらいですね、男性も本当によくやっています。偉いと思うし、だんだんそうなるんだなと思うから大丈夫、だんだん変わってきますよ。もうムーブメントが起きているから。みんなで、これからよくなるために、目指していると思うから、私は今を信じて、何とかしていつてくれるだろうと思っています。

<p>E 委員</p>	<p>少し別角度の話になりますけど、5年おきにアンケートを実施していただいている、このような資料になってくるかと思うんですけども、それでも回答率が50%を毎回下回っていて、無作為での調査という形ではあるんですけども、せっかくこういったことを市で実施している中で、何かもう少し、回答率を上げるであったり、また、回答率の低い年齢層であったりそういった部分のデータっていうのは、何かされていたりしているのかなと、少し気になりました。</p>
<p>統括主幹</p>	<p>回答率、回答が少ない世代っていうのが、やはり年齢が若い世代の方が少ない結果となっているというところではあります。</p> <p>その部分、10代は18、19だけなので、少なめにはなってしまうんですけども、20代、30代全体をと比較すると他のところよりは若干少ない回答になってきています。そこら辺をちょっと本当は回答率上げていきたいところではあるんですが。今回はお願いできませんでしたけど、本当は、インターネットとかで回答するかそういった方法も考えたんですが、質問が多くて長くて多岐に渡りすぎていて、本当はもう少し、回答しやすい項目に変えられたら、そういう方法ができるのかなと思ってみたりしたのですが、私の力不足でそこまで今回できなかったところではあります。今後の課題にはしていかなければいけないかなとは思ってはおります。</p>
<p>会長</p>	<p>確かにそうですね。今の若い人はインターネットから回答するという場合が多いです。大変だと思うんですけど、質問を少なくすることが必要ですかね。</p>
<p>F 委員</p>	<p>私も人事の立場で、女性の活躍というところを、これから進めていかなきゃいけないかなという立場ではあります。</p> <p>採用のところでお話しますと、私は金融機関のものなんですけど、以前は女性の採用は窓口（テラー係）をイメージしている、男性は営業をするっていうことをイメージしている、そういう傾向だったのが、最近に入ってすぐに営業をやりたい、外回りをしたい、という女性が出てきております。若い年代の意識や感覚が男性も女性もないんだなというのを実感します。そうなってくると、逆に今度は窓口をやりたいっていう男性も出てくるんじゃないかな、というようなことも考えるんですが、その辺の意識は、若い年代の方が確実にフラットになってきているんだなというような感覚を持っております。</p> <p>あと現在、もうすでに活躍している女性職員の中から、管理職とか、上に立つ人をどんどん増やしていきたいというところではあるんですが、その環境を作っていくためには、管理職になる、ロールモデルになるような先輩がちゃんとして、活躍をしてっていうところを見せた上で、私もそうなりたいと思って管理職を目指す、そういう形をつくってあげるのが自然な流れで、活躍して管理職になっていく女性も増やしていけるのかなと。環境は整えましたのでさあどうぞと言っても、管理職の女性が増えていくかっていうと、なかなかそういうふうにもうまくいかなないのかなというような気がしています。責任ある仕事を避けているというところの質問で、「そうではない」と回答している方が前回よりも増えていますが、責任ある仕事につくのを避けているのではなくて、実際は責任ある仕事につくということは、もしかしたら残業しなきゃいけない、責任ある仕事もやりたいんだけど、残業すると、家</p>

庭に影響が出てしまうんでそれを諦めざるをえないとか、そういう様々な要因が絡み合って回答をしている、悩んだ末回答しているのではと、そういうところもあるんじゃないかなと思いますので、何か1つのことをやるのに、そのことだけに捉われるんじゃないかと、いろんなことが絡み合っているんだなと思うと、いろんなことが簡単ではない。ただ1つ1つ何かを変えていながら全体が変わっていくという流れを作って動きが出てくれば、女性の活躍も加速していくのかなと思います。

会長

看護師している知り合いに、正規になればいいんじゃないと言うんだけど、選択しないんですね。それは、決まった時間に帰れて、子供と接する時間も持ちたいと考えていて、そういう選択をしているんですけど、子育て年代の人には、残業はしなくてもいいというような、宿直もしなくてもいいってというような社会になっていけば、いいのかもしれないんですけど、やはりそうでない限り、今のところは個人の選択で、そうせざるを得ないって人もいるってことですよね。

G委員

ジェンダーについて、今まで関わることもなく、よくわからなかったんですけども、昨年、出前講座で共生社会やジェンダーについてお話をお聞きしました。その後、電車に乗る機会があったときに、座席の向かい合いに、すごく奇抜な服を着た人がいて、どうしようかと思ったんですけど、「そのお洋服とっても素敵ね」といろいろ話しかけました。するとすごく気さくな声がかえってきて、奇抜な服装であっても声をかけてみると、意外と心穏やかに話ができるもんだなと思ったり。

行政の方から、そういう講演会とか開いていただけると、出会ったときに、講師さんから学んだことなどを実践したり、身近に感じられるように、少しですけどなりました。連合婦人会の会員さんもやっぱりそう言っていますので、そういう時間があったらできたらと思いますし、行政の方にもお願いしたいと思います。勉強というか、そういう講演の回数を重ねると、だんだんほぐれていきまして、対応もしやすくなってまいりますね。

会長

確かに見かけによって思い込みで対応してしまうことがありますよね。そういうことも体験でわかってきますね。

県でもいろんな講演会をやっています、そういうものを上手に取り込んで聞いていくと、今ネットでも聞けるので活用していけるといいかもしれないですね。

H委員

どうしても行政がやるとなったら幅広く全体に対してやらざるをえないっていうのがあるなっていう中で、全体の流れとしては、徐々に良くなってきているなというのは、この全体的な数字からわかりますね。

ただそんな中でも、どこを変えることが一番効くんだろうと、見えないうちでもどこか見出してそこに集中して取り組めればいい、ここがいいのかなとか結果に繋がりがやすいのかなというふうに、感じているところです。ただ、なかなかできない面もあると思うんですけど。その中でこれをやることによって、そこだけは数字をしっかりと出そうというところがあったらいいなと思います。

あと少し違う観点からですが、結婚しなくても子供いなくてもいい、それを強制するものではないからどうしようもないんですが、その先に日本はどこへ行くんだらうっていう悩ましいバランスなのは、ちょっと結果見ながら思いました。

あと、会社の中での位置というところだったり、残業だったりというところですけど、私の会社も育休で休んで復帰してという方もいらっしゃるんですが、どうしても、復帰しても子供が何かあれば、まずお母さん、それってお父さんではダメなのかなとか、自分の家庭を顧みたときに人のこと言えないんですけど、ただそこをもうちょっと取りやすくてか、バランスよくできれば少し違うんじゃないかと。そういう、少しずつの変化でも変わってくるんじゃないかなと思います。読みながらの思いつきだけなんですけど、そんなところを感じました。

会長

確かに、少子高齢化はここ最近不安だになってというのは誰も感じていることで、男女共同参画がうまくいかない、このままどんどん少子高齢化が進んでいってしまうんじゃないかなということを感じています。やはり、子育てをしやすい社会は、基本的に男女共同参画がなければ、進んでいかないのかなっていうことを思いますね。

だから、子供がいなくていいということではなく、やはり子供が大切だと思って思うんですけど、この頃、結婚しない人がますます増えまして。いろいろお見合い作戦をやるんですけどなかなかまとまらなくて、もう頭が痛いところです。恋愛ならすぐ結婚するんですけど、お見合いってなると、条件が先だったり、自分の理想とする人ではないって思うとすぐ断るというイメージで、いろいろ私たちも努力しているんですけどなかなかまとまりません。子供がたくさんいて、日本が安定的に発展していけるような社会にしていくためには、やはり男女共同参画を進めていかないといけないなということ強く思いますね。

I 委員

学校現場にいるものとして、学校教育の中でも男女平等だと考える、どの世代もそういうふうにつまえている結果に、まずありがたいなって安心に思いながら、資料を拝見しました。

本当に男女関係なく自立について考えさせていく、指導していくことが、学校としては大事なんだと改めて感じています。DVのことも含めてなんですけど、学校の中で、改めて子供たちに今、人権のことも含めて「暴力は駄目だよ」という、基本的なことを指導をしています。やっぱり自分が思い通りにならない、言葉でうまく言えない、そうすると、手足が出る、ものを壊す。そういうことでは解決しないっていうことを、小さいうちから繰り返し、説いていく必要があるなって。それが結局、小学生、中学生のときに、十分にしなければ、社会人になったときに、パートナーに暴力を振るったり、必要以上の束縛をしたりということになるのかなと思うので、本当に基本的な学力として、言葉で伝えていくことが、大事なかなっていうふうに、この資料を読ませていただきながら、改めて感じたところです。

私の3つ下から、学習指導要領が変わって、男子も家庭科をやるようになり、今は普通に高校で女子が柔道もやりますし、そこが大きく変わったところだと思うんです。その世代の方達が、親になってくるので、その人たちが育てた子たちがまた大きくなって、ていうふうになると、また少しずつ考え方も変わってくるなと思うので、私たちは本当に日々そういうことを少しずつ積み重ねていきたいなと思いました。ありがとうございます。

会長

学校でもしっかりやっていただいて、家庭でもしっかりやって、子どもうちから意識が芽生えていければと思います。

H委員	<p>アンケート方法でさっき若い人たちがインターネットの方がいいのかというような意見もありましたが、これをまとめるのに、本当に時間がかかったんだろうなと思うと、今はもうネットでフォームで引っ張っちゃえばデータなんて時間かからず出せちゃうものなんですよ。やっぱそういう意味で言うと紙でやるのはいいんだけど、手間って考えると、ちょっと年齢が上がるほどにそこの回答率は減るかもしれないですけど、そこに頼ることでより早く出せるし。例えば無作為で出して、47%の回答ってすごいと思うんです。このボリュームを依頼して、これだけ回答してもらっているのはすごいなと思います。</p> <p>ネットでポンポン出すなら無作為で、都度都度、細切れで出してとやっていけば、さらに回答しやすくなると思う。そういうところも、やり方によって、もう少し楽になるのかなと思いました</p>
会長	<p>そうですね。今、ネットだとまとめもしてくれるし、すぐ計算ができてしまうんで、そのやり方でやるのが若い人だといんですけど、高齢の人はそれができない、返事ができないっていうのもあるので、そうやって、今きっと行政も大変なんでしょうけども。</p>
H委員	<p>それでも、60代とかでもスマホを皆さん使いこなしているじゃないですか、やっている方も多い中では、うまく活用できれば、より楽にできるかなと思うんですけど。</p>
会長	<p>何か、本当にスマホでもできるアンケートに答え、いろいろしているんですけど、何か若い人に教わりながらやっていますが、そういう方法でやっていければ、少し集まって、集計も細かく出るかもしれないんですけど、ネット社会というところにもそれなりの方法で、技術を学んでいく、今の社会についていく技術を得ていくことも一つかとも思ったりしますね。ありがとうございます。</p>
A委員	<p>そうですね。先ほども話が出たように、このアンケートの中にもありますけれど、結婚する、子どもをつくることについて若い人が比較的そう思っていないところ、やっぱり少子化に繋がって、介護の問題、それから子育ての関係においても、こうなってくるということで、そこら辺が、この意識を変えていくように持っていかないと、今後のそういう高齢者が増えてく中で、どうやってそういう人たちを、介護していくかなどという問題は出てくるのではないかと思います。</p>
会長	<p>介護も大変ですね。簡単に施設に入れるっていう時代がもうだんだんなくなってくるんじゃないか。余りにも費用が高くかかり過ぎて、施設に入れないと、私もすでに思っています。何かそういうような時代になってきたときに、若い人にまた負担がくるのかなと思うと、この先いろいろ考えることが多いかなと。</p> <p>これから先、プランⅦを策定するについて、これだけは入れてほしいというようなことがもしありましたら、お願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>今までお伺いしたことの中から、いろいろ意見をいれていくと思うんですけど、もし何か、ここで言い忘れたことがありましたら、市の方に言っていただければと思います。</p>

	<p>それではこの結果をホームページで公表して多くの市民のみなさんに見ていただけるようにしてください。また、本日の委員の意見も踏まえて、今後の計画策定に活かしていただくようお願いしていくということで、審議会からの意見とさせていただきますがよろしいでしょうか。ありがとうございました。</p>
--	---

(2) 第7次岡谷市男女共同参画計画策定について

会長	次に、会議事項（2）第7次岡谷市男女共同参画計画の策定について、市から説明をお願いします。
統括主幹	<p>《第7次岡谷市男女共同参画計画の策定について（資料2）説明》 ⇒内容省略</p>
会長	<p>ただ今、市から説明のありました事項について、ご質問等ありましたらお願いします。</p> <p>《特になし》</p>
会長	それでは来年度、男女共同参画計画の策定ということですので、よろしくお願いいたします。

(3) その他

会長	その他ですが、市から何かありますか。
課長	<p>本日はありあとうございました。</p> <p>また、市の都合で日程を変更していただき、大変申し訳ございませんでした。先ほど担当からも話がありましたとおり、現在の委員さんの任期は、令和6年6月2日までとなっております。令和6年度は、6月3日から新たな審議会の委嘱をしております。2年間大変お世話になり、ありがとうございました。</p> <p>来年度は、計画策定の年となります。皆様には、2年間、さまざまな取り組みのご審議をいただきましたので、ぜひ引き続きご協力いただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	ただいま、課長さんからご説明がりましたが、現審議会委員での会議は、最後ということですので、各委員さより一言ずつあいさつをお願いします。
D委員	お役に立てているのかわからないですが、お役に立てているのならば幸いですし、できることならば、またお役に立てるようがんばりたいと思います。ありがとうございました。
E委員	任期の関係で2年間、参加させていただいて大変勉強になりました。また、労務対策協議会の事業だったり会社での活動に、ここでの経験を活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。
F委員	少し参加できないときもあったりして、大変申し訳なかったのですが、私が考える意識と、実際こうやって調査をしていただいて、出てきている

	結果にずれがあったりする中で、自分の考えも修正をしていかなきゃいけないんじゃないかというような勉強をさせていただきました。どの程度お役に立てるかわからないですが、今後もご協力していきたいと思います。
G委員	現在の団体での会長は、これで変わりますので、みなさまありがとうございました。
H委員	今年かかわらせていただいたんですが、1回目に出席できず、今回初めてでこれで終わりという、そして、会長も変わる状況でありますので、ちょっと恥ずかしい限りですけど、こういう場に出てかかわれたこと、特にアンケート結果を見れたことはすごくよかったと感じております。来年の会長に引き継げることは引き継ぎながらやっていきたいと思います。
I委員	昨年4月から岡谷にお世話になっていて、個々に参加して男女共同参画の勉強ができましたので、また、いろんなことを教えていただきながら、また、学校に何かご要望等ありましたら教えていただき、進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。
A委員	男女共同参画審議会の委員として参加する中で、改めて男女共同参画の必要性ですとか、そういうものについて自分の考えもちょっと考え直さなきゃいけないかなということを感じながらこの2年間やってきました。ありがとうございました。
C委員	男女共同参画審議会があるけどどう？って誘っていただきまして、参加させていただきました。ありがとうございました。 初め、どういうことだろうということからの勉強から入ったんですけれども、皆さんからいろんなご意見をお伺いして、いろんな考えもあるんだということも、本当にそのたびに勉強になりました。どんどんこういうことをしなくてもいいような、世の中になればいいんだろうなと思います。お世話になりまして、ありがとうございました。
B委員	2年間お世話になりました。ありがとうございました。 男女共同参画って非常に難しい問題で、これをこうしようって言っても政治の問題があったり、いろいろな金銭的な問題もあったり、企業の問題もあったりと、全部絡み合っているところに男女共同参画というところになってくるんだと思いますけど、最終的には、その一人ひとりと個人、役職にある方でもなんでも、個人の考え方が根底にあり、それで何かうまく解決していくんじゃないかなってというようなことを勉強させていただきました。今後、そういったことを頭に置きながら、社会を見ていきたいと思っていますので、またよろしく願いいたします。
会長	長野県男女共同参画センター 長崎所長さん一言お願いします。
アドバイザー	今、お話あったように、男女共同参画は非常に難しく、多岐にわたっていて、たとえば、今の能登地震の災害避難所の問題も男女共同参画の視点というような、非常に多岐にわたる分野です。 先日、ちょっとお話をお聞きする機会がありまして、若い女性、特に都会の高校や大学を卒業するかしないかくらいの女性において、非常にキャリアを大切にしている、これからどうやって働いていくか、当然育児だとか、そういう期間は育児をして、そのあとちゃんと仕事が続けられるか、

	<p>これを重視している。今の若い女性は考えているということでした。長野県では、男性よりも女性の方が転出率が高くなっているんですが、それを何とかしようとしている。それは、少子化の問題と密接に関わっているし、この辺りは工業地帯でもありますので、女子をいかに獲得するか働き手をいかに獲得するのかは、非常に重要な問題ですよね。だから、実は、男女共同参画は、広くて難しいけど、そういうことも密接に関わっているので、行政においても非常に大きな問題ですので、それを皆さんたちと一緒に考えながら、そういった部分をなんとか解決していきながら、地域が盛り上がっていきたくて考えています。</p> <p>ここで、皆さんは任期が終了してしまうとのことですが、こういった会議があったこと、男女差別とか女性活躍だけではないということのをちょっと覚えておいていただければと思います。</p> <p>市内にあります“あいとぴあ”ですが、長野県諏訪湖環境研究センターとして、長野県水部門の研究機関全部が集約します。そのため、今までやっていた貸館ができなくなりましたので、申し訳ないと思っているのですが、引き続き、そこの1階に我々がおりますので、ぜひまたご利用いただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは続いて市よりお願いします。</p>
<p>部長</p>	<p>企画政策部長の岡本と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは市を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げたいと思います。</p> <p>委員の皆さんにおかれましては、令和4年の6月から2年間にわたり、男女共同参画審議会の委員として、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。お仕事など大変お忙しい中でご参加いただき、それぞれのお立場からご意見等いただきましたことに対しまして、御礼を申し上げます。</p> <p>さて、推進状況等の検証をいただいております男女共同参画プランⅥですが、先ほども話でしたが、いよいよ来年度、令和6年度で終了になります。来年度につきましてはプランⅦの策定を予定しているところでございます。</p> <p>本日いただきました意見、また、これまでの審議会の中でいただいた貴重なご意見、ご提言を踏まえまして、男女共同参画社会の実現に向けた計画となりますよう、しっかりと策定をして参りたいと考えております。</p> <p>委員の皆様におかれましては、任期が終わりましても、引き続き、岡谷市の男女共同参画の推進にご理解ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>最後になりますが、皆様のご尽力とご協力に対しまして、心から感謝申し上げますとともに、今後のご活躍をご祈念申し上げます。本当にありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>皆さんありがとうございました。</p> <p>それでは、本日予定されました議事については、すべて終了いたしました。今後、何か気になった点、ご質問等ございましたら、市までお問合せください。</p> <p>閉会の言葉を副会長よりお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>どうもありがとうございました。</p>

また、それぞれのお立場からのご意見をお聞きしまして、大変勉強させていただきました。本当にありがとうございました。

職場に戻りまして、男女共同参画について伝えていきたいと思えます。以上をもちまして、第2回岡谷市男女共同参画審議会を終了いたします。ありがとうございました。

4 閉会